

浅田 彰

photographs by Hiroshi Takeoka text by Kentaro Matsui

以前から田中氏が警鐘を鳴らし続けている
子宮頸がん予防ワクチンについても指摘した。

受動喫煙対策まで。
子宮頸がん予防ワクチン、
瓦解する安倍政権、
瓦解する安倍政権、
名古屋市教委の姿勢から、

今月の憂いポイント

田中 康夫

憂国呆談

season 2 VOLUME 95



前川・前事務次官の授業内容を、文科省が名古屋市委に調査。

浅田 2月16日に名古屋の市立中学で前川喜平・前文部科学事務次官が講演授業を行った。それに関して、文部科学省が名古屋市教育委員会に異様に細かい質問状を送って報告を求めたことが判明。天下り幹旋問題で引責辞任した前川をなぜ講師と呼んだのか詰問してるようなもの。辞任後、加計学園の獣医学部新設に関して安倍政権の圧力で行政が歪められたことを批判した前川に対する言論弾圧にもつながりかねない。

市教委が「文科省とのやり取りのメールを公表する」って言ったら、文科省は「前川の名前とかを黒塗りにしろ」と、わざわざ黒塗り部分を指示したファクスを「参考」として市教委に送付、市教委はそれをそのまま公表し、「なぜ授業内容まで報告しなきゃならないのか」って文科省に聞き返した。あの市教委の姿勢は正しいね。

田中 南京虐殺はなかったと以前から公言している河村たかし名古屋市長ですら、調査は法令に基づいて適正に行つたと釈明する文科省に対して、「思想統制につながる」と批判した。加計学園の岡山理科大学獣医学部の入学式で「魔法で出産した学部だ」と挨拶した元・愛媛県知事の加戸守行も旧文部省出身で、しかも日本会議の愛媛県本部相談役だから、前川喜平前次官のような社会観の持ち主のほうが実は少数派なんだね。

それにしても自民党の文科部会長の赤池誠章と会長代理の池田佳隆が初等中等教育局に何度も電話して、講演の内容を

照会していたとはお口アングリだ。

浅田 安倍チルドレンの池田ってのは日本青年会議所会頭あがりの右翼でしょ？

林芳正文科相は「誤解を招きかねない表現だった、もう少し慎重でもよかった」と担当の初等中等教育局長に注意を与えつつ、「必要に応じて事実関係を確認するのは通常のこと」で問題はないと「お友達」に便宜を図った「首相案件」だったことが改めてはつきりしてきたけど、とくに森友については、幼稚園児に教育勅語を暗唱させるような極右政治教育をやつてる連中だつてことを改めて強調しとかないと。右翼は教育勅語にも「家族は仲良く」とかいことも書いてあるつて言うけど、その延長上に共同体としての天皇制国家があり、それを守るためには身を賭して戦つて話になつてる。その全体が軍国主義につながるイデオロギーだったことの反省の上で、教育基本法をはじめとする戦後教育があるんだからね。橋下徹は、私立学校なんだから嫌なら行かなくやいって言うってんだけど、戦後教育を全否定するよ



うな教育には問題があるし、それを認めるのなら朝鮮学校で「金王朝」の「御真影」を掲げるのも認めなきゃ。

田中 国外逃亡の恐れもない籠池泰典・



諄子の両被告を冷暖房すらない大阪拘置所に9か月以上も勾留し続けている非人道的対応は大問題だけど、森友学園理事長だった彼が所属していた日本会議は、歴史修正主義を唱える一種のカルト集団だと、海外メディアは捉えているわけだからね。

他方で世襲独裁体制が批判され続けてきた朝鮮民主主義人民共和国は意外や意外、国交を結ぶ国が174か国に達し、国交がないのは日米韓を含めて今では19か国に減少。その中の一つであるフランスも平壤に代表部を設置している。今後もし紆余曲折を経るにせよ、ドナルド・トランプと金正恩が国交樹立へと至れば、この点でも「先進国」の中で日本だけが置いてきぼりを食らう展開は十分あり得る。

その日本政府が設けている規制改革推進会議が「政治的公平性」を求めた放送法4条の撤廃を含めた放送制度改革案を答申する動きが3月末に発覚した。だけど、テレビ東京を含めた在京キー局トップ全員が社長会見で反対を表明。モリカケ、セクハラ、南スーダン&イラク日報問題とカタカナ続きの不祥事で満身創痍の政府は、早々と白旗を掲げる羽目に陥つた。

浅田 トランプ米大統領に近いとされる『シンクレア』ってのは、193のローカルTV局を傘下に持つアメリカ最大のメディア企業だけど、傘下の全TV局に対して同じ文言を放送するよう強要し、各局のキャスターがそれを読み上げるのを同期させた映像がYouTubeにアップされておもしろい。「いくつかのメディアは



フェイク・ニュースを流している。偏った意見で人々の考えをコントロールしようとするのは民主主義の重大な危機だ」って、CNNやニューヨーク・タイムズのことを言ってるつもりなんだけど、それこそ自分たちのことだつての。ネットも含め、政治的偏向をいかに防ぐかが大問題になってるとき、放送法4条の撤廃を目指すなんて、自分たちもトランプのようにやりたいってことなんだろうね。

**もはや瓦解寸前？
アメリカに見放された安倍政権。**

浅田 憲法9条にしても、2項を残したまま3項に自衛隊を書き込むなんて、論理的にめちゃくちゃ。戦力(forces)は保持しないって言つていて、自衛隊(Self Defense Forces)を保持するつて言うんだから。

田中 5月27日には100歳を迎える改憲論者の大勲位・中曽根康弘翁が、「ぬらぬらしたものが安倍くんの憲法観にはない」と2年前に述べているのね。この国のあり方に関するパッションもミッションもなく、ただ単に戦後憲法を変えたのは自分だと足跡を残したいだけだろ、と。

浅田 「今と何にも変わらない」つていうなら変える必要はない、それは石破茂の言うとおり。憲法学者の大半が自衛隊を違憲とする状況はおかしいつて言うけど、善かれ悪しかれ国民の大半はすでに自衛隊を認めてるわけだしね。

田中 どうしても9条をいじるのなら、1項で専守防衛を明確に掲げ、2項で自衛隊の海外派遣は天変地異に見舞われた地域へ真っ先に駆け付ける「サンダーバード」活動に徹するとすべきでしょ。

浅田 2項を残したままの9条改憲で自民

党内の意見を集約したってことになってるけど、公明党が乗ってこないし、いまの状況じゃ改憲どころの話じゃない。

あと、長期的な経済対策を考えれば、黒田東彦日銀総裁も任期満了を

って代えるべきだった。アメリカもヨーロッパも量的緩和から出口に向かおうつときに、日本だけが量的緩和一本槍。黒田は就任時には2年で2パーセントのインフレ率にするって言って、5年経っても駄目、それをまだ続けようってんだから。

田中 高層ビルの建設が一段落する東京オリンピックの前年には建設不況が訪れると言われてるのに、2019年度ごろには2パーセントに達している可能性が高いと確信している」と相変わらず狼少年な発言を国会でも披露してビックリだ。お約束の「出口戦略」は一体どうするんだと心配していたら、なんと首相官邸周辺に墓穴という出口がいくつも開いてきちゃった(涙)。

浅田 あらゆる意味で政権交代の潮時だね。そこへアメリカからもきつい一発が。トランプ政権は中国からの鉄鋼やアルミニウムをターゲットに関税引き上げを發表したけど(その後も多数の品目への関税を追加)、例外扱いを求めた日本の要求は無視され、日本は中国と束にされた。就任前から馳せ参じて、唯一の親友とすり寄ってたトランプ大統領から、「安倍はいいやつで友人だが、彼の笑みは『こんなに長い間アメリカを騙してきたとは信じられない』という笑みだ、そんな時代は終わった」と一蹴される始末(苦笑)。

田中 例外はオーストラリア、アルゼンチン、ブラジル、韓国、カナダ、メキシ



コ、EU。実はアメリカの鉄鋼製品輸入先は日本が全体の5パーセントで韓国は10パーセント。なぜなんだと怒るネトウヨも政治家も全然出てこない不思議な日本。

浅田 例外になった国や地域とはFTAの再交渉なんかが進行中で、日本ともバイラテラルな交渉をやりたいってことなのかも。そのしりから、トランプは就任直後に離脱を表明したTPPへの復帰を匂わせたり、例によって支離滅裂だけどね(笑)。

ともかく、仮想敵である中国や北朝鮮に対し日米は100パーセント共にあるって大見得を切ったのに、中国と同じ扱いを受けるとは。日本の頭越しに北朝鮮との首脳会談に応じたのに続き、トランプがホンネでは日本をどう見てるか明らかでしょう。

田中 そんなタイミングで日本の首相はフロリダへと夫妻で出向いた。ところが「ドナルドと二人きりで北朝鮮、経済の問題について相当深い話をした。非常に重要な点で認識を一致できた」はずの首脳会談の終了5分後には「ワシントン・ポスト」が電子版でマイク・ポンペオCIA長官(その後、国務長官に内定)が金正恩と平壤で極秘会談したと流す展開に。「米朝会談で拉致問題提起、



日米首脳、圧力維持で一致」と、犬猿の仲なはずの『朝日新聞』まで報じた日本メディアは、「米CIA長官が数週間前に極秘訪朝」と後追いつる羽目に陥った(苦笑)。

浅田 そのトランプはハーバート・マクマスターに代えて超タカ派のジョン・ボルトンを国家安全保障担当補佐官に任命。彼もポンペオもバラク・オバマ政権が結んだイランとの核合意に批判的だった。まずは、イランがロシアと共に支援するシリアのアサド政権が化学兵器を使用したことを理由に、仏英と共にシリアの関連施設へのミサイル攻撃に踏み切ったけど、これから中東がどうなるか、またその関連で北朝鮮との交渉がどうなるか、予断を許さないところだね。

BCG480本分の蛾のタンパク質が体内に。

田中 最近の子宮頸がん「予防」ワクチンからHPVワクチンへと推進派も呼び方を変えようになった奇々怪々なワクチンに

日本の頭越しに北朝鮮との首脳会談に応じたのに続き、トランプがホンネでは日本をどう見てるか明らかでしょう。(浅田)



の日本では、大半の薬剤や手術は保険適用なのに対し、その昔からワクチンは自由診療。だから、同じインフルエンザ・ワクチンもクリニックによって値段が大きく違うのね。

性行為を介して感染する性感染症ウイルスがHPV (Human Papilloma Virus) / ヒトパピローマウイルス)。で、子宮頸がんを誘発すると言われているHPVはアメリカでの調査で、感染後に90パーセントが体内から自然排出され、残り10パーセントもその9割が自然治癒する。さらに残り1パーセントについても前癌症状の時期に適切な治療を行えば、9割以上は治ると日本産婦人科腫瘍学会のガイドラインにも記載されている。無論、子宮体がんも子宮頸がんは異なる。そうして子宮頸がんよりも生涯罹患リスクが高い乳がんや大腸がん、胃がん、肺がん、手術が困難な膵臓がんといった「がんワクチン」は現在も誕生していないのに、キスやセックスで感染するHPVが誘発する子宮頸がんの予防ワクチンだけは存在する。

言及しているけど、新しい事実が色々判明してきた。その前に復習しておく、治療に用いるのが薬剤IIメディスン。ワクチンは、疾病の予防に有効だと確認されているのが大前提の予防接種で、だから薬効も治療効果もない。しかも国民皆保険制度

実はHPVの遺伝子は判明しているものの、HPVが体内のどこに潜伏しているかはわかっていない。そこで両社とも、映画『ミクロの決死圏』じゃないけどHPVの居場所を突き止めるために、例えばGSK



の場合は、バキュロ・ウイルスというゾンビウイルスに変化する蛾のウイルスとHPVを2段階ロケットのように合体させたワクチンを接種する。当然、そこには蛾のタンパク質が入っていて、その昔にラットの細胞からつくった日本脳炎のワクチンが、そのタンパク質が体内に入ってしまったことよって大きな問題になったのと同じ失敗を繰り返そうとしている蓋然性が高いんだ。HPVワクチンを接種した後に子どもを産んだ母親の、母乳や唾液を通じて蛾のタンパク質が子どもの体内に入っていく。HPVが人の体内のどこで眠っているのかは解明されていないので、その子どもが成長してある時に突然、何かに反応してショック死してしまう可能性だってある。厚生労働省もHPVワクチン接種で、蕎麦アレルギーと同じようなアナフィラキシーが起きると書いている。

脅かすわけじゃないけど、結核を予防するBCGワクチンは、牛の細胞からつくられ、1回の接種で0・25マイクログラムのタンパク質を含有している。それに比べてHPVは、1回の接種で40マイクログラムもの蛾のタンパク質を含有している。0・25マイクログラムでも腕が腫れたり、熱が出ることもあるのに、HPVはそれを3回も打つ。つまり120マイクログラム、BCG480本分を打つことになるわけで、なのに、その接種が公然と世界中で許されている。

浅田 そういう意味できつすぎるんじゃないかって危惧している専門家も多いね。

田中 製薬2社と国を相手取って東京、名古屋、大阪、福岡で集団訴訟が起こされて、僕も第5回の口頭弁論を傍聴した。4人の少女が車椅子で来ていたけど、接種後に体

の自由が利かなくなつて這つて自宅の2階に上がらざるを得なくなつたり、つい先程の会話や行動を思い出せなくなつたり、保護者が心配して医療機関に連れて行つても、「アルプスの少女ハイジ」にでてくるクララと同じ精神の病だと村中瑠子という臨床医の経験がないジャーナリストが冷笑しているのと同じように取り合つてくれないと。

浅田 だつたらなぜそういう症状が出るのかを科学的に説明すべきだよ。

田中 その通りだよ。現実に身体障害や記憶障害に苦しんでいる明らかな「エビデンス」を、推進派は無視している。僕が生まれた1956年に第1号患者が公式認定された水俣病も、東大医学部は水俣の一部の地域の人たちだけの特異現象で、チソの水銀との因果関係は認められないと言いつつ、さらに患者を増大させてしまったのと極めて似ている対応だ。

「極めて安全だ」とWHO（世界保健機関）も勧奨していると推進派は胸を張るけど、実はWHOの予算の約8割は巨大製薬会社とビル&メリンダ財団からの寄付。アフリカの子どもをワクチンで救おうと当初は崇高な使命感に燃えていたビル・ゲイツだけど、いつの間にか利益相反なワクチン・ビジネスのお先棒を担ぐ展開となつている。強制接種を推進したオーストラリアの元首



HPVが人の体内のどこで眠っているかは解明されていないので、子どもが成長して突然ショック死する可能性も。(田中)



相のトニー・アボットも、自分の娘には打たせていなかったのが発覚して大問題になつている。

浅田 ヨーロッパでは、ワクチンを拒否する人が増え、それで今、はしらが流行つて。そういう意味で、反科学主義の行き過ぎはよくない。それでフランスなんかは11種のワクチン接種を義務化したんだけど、じゃあ本当に大丈夫か。まして、子宮頸がんワクチンが、これから多種多様ながんについて開発されたら、それ自体は素晴らしいことだけど、それを全部接種して大丈夫か。ぼくは基本的に科学の進歩に肯定的なんだけど、カール・ポパーの言うように常に可謬性・反証可能性を意識してることこそ科学の条件なんだとしたら、もっと謙虚な反省と検討が必要だと思ふよ。



田中 日本神経内科学会の中では、因果関係があるのではと議論が起きていて「科学を信じて、技術を疑わず」でなく、「科学を用いて、技術を超える」謙虚な意識での挑戦が求められている。3月24日には、東大の武田先端知ビルで開催された国際シンポジウム「世界のHPVワクチン被害は今」に参加した。コロンビア、スペイン、イギリス、アイルランドから4人の被害者の母親が来日し、

子どもが記憶障害や身体障害に苦しむ状況を語った。被害を訴えても日本と同様には「何も問題はない」と門前払いで、メディアも含めて逆に「あなたたちがおかしい」と言われると。

浅田 低線量放射線被曝も似たような問題で、メカニズムはまだわからないけど、現にガンが増えている、じゃあもつと科学的に研究しなきゃ。「いたずらに恐怖を煽る非科学的態度は風評被害を増すばかり」って批判こそ実は非科学的でしょう。

受動喫煙の問題も似ててさ。僕は煙草は吸わないけど、肺ガンのような病気になるリスクや生命保険料が上がるコストを負つても吸いたい人は吸えばいい、受動喫煙の害は過大評価されてるって思つた。でも、よく考えると、低線量放射線被曝と同じこと、いやそれ以上に、リスクはあるんだよ——受動喫煙による年間死者数が世界で60万、日本で1万5000って推計がどこまで正しいかはさておき。その意味で、やっぱり受動喫煙対策はちゃんとやるべきだ。ところが、自民党の反対で、厚生労働省の対策案も骨抜きに……。

田中 個人経営か資本金5000万円以下の店舗で、客席面積が100平方メートル以下なら、喫煙・分煙などの標識を提示さえすれば喫煙を認める緩い案が閣議決定された。それ以下の床面積に家族4人で暮らす世帯が大半なのにね。新規店舗に関しては規制対象を30平方メートル以下にするから数年間で吸えない店が増えていくと弁解してるけど、オリンピックを開催した北京やソチよりも「後進国」だと世界中から呆れられちゃうね。

浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。
83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラー。

